

1 管理運営

(6) 令和2年度予算及び決算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3, 2 9 3	3, 3 1 6	2 3	(注1)
うち補正予算による追加	—	—	—	
施設整備費補助金	7 0 0	5 9 9	△ 1 0 1	(注2)
うち補正予算による追加	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	2 5	9 6	7 1	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	2 8	2 3	△ 5	(注4)
自己収入	8 4 9	8 0 4	△ 4 5	
授業料、入学金及び検定料収入	7 5 1	7 1 9	△ 3 2	(注5)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	9 8	8 5	△ 1 3	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1 2 9	1 3 0	1	(注7)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
前中期目標期間繰越積立金取崩	—	—	—	
目的積立金取崩	3 4	5 4	2 0	(注8)
計	5, 0 5 8	5, 0 2 3	△ 3 5	
支出				
業務費	4, 1 7 6	3, 8 8 0	△ 2 9 6	
教育研究経費	4, 1 7 6	3, 8 8 0	△ 2 9 6	(注9)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	7 2 8	6 2 2	△ 1 0 6	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	2 5	6 2	3 7	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1 2 9	8 8	△ 4 1	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	5, 0 5 8	4, 6 5 1	△ 4 0 7	
収入-支出	—	3 7 2	3 7 2	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因運営費交付金が追加交付されたこと等により予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部事業の翌事業年度繰越等により予算額に比して決算額が101百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、情報機器整備費補助金が交付されたこと等により予算額に比して決算額が71百万円多額となっています。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が35百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、交付決定額の減少により予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料等減免費交付金による授業料免除の実施等により予算額に比して決算額が32百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、講習料等収入の減少、研究関連収入の減少等により予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、当初の見込みよりも共同研究収入及び寄付金収入が増加したことから予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。また、決算額には、前年度からの繰越額42百万円が含まれています。
- (注8) 目的積立金取崩については、教育研究環境整備のための補正予算を編成したことにより、予算額に比して決算額が20百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、人件費の節減及び退職手当の繰越等により、予算額に比して決算額が296百万円少額となっています。
- (注10) (注2)及び(注4)に示した理由により予算額に比して決算額が106百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等支出については、情報機器整備費補助金が交付されたこと等により予算額に比して決算額が37百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、当初の見込みより寄附金事業費及び受託事業費が減少したことから、予算額に比して決算額が41百万円少額となっています。